

研修報告書

研修名	ピアサポート専門研修 1回目・2回目
会場名	ZOOMにてオンライン参加
主催者	京都府健康福祉部障害者支援課（認定・精神係）
実施日	2024年2月2日（金曜日）10：00～17：30 2024年2月10日（金曜日）10：30～16：45
<p>《研修参加者》生活支援員：佐中 俊昭、利用者：M氏</p> <p>《研修内容》</p> <p>1日目：ピアサポートの基礎と専門性・ピアサポートの専門性の活用・ピアサポートを活用する技術と仕組み</p> <p>2日目：ピアサポーターとして雇用される・ピアサポーターを活かす雇用・セルフマネジメントとバウンダリー・チームアプローチ</p> <p>【気付いた事】</p> <p>当事者と支援者の関係性のあり方について、当事者とのコミュニケーションの重要性 ピアサポートが寄り添える存在、ピアサポーターを雇用するルール作り</p> <p>【業務に活かそうと思った事】</p> <p>内容的には勉強にはなりましたが、実際に活かせる部分としては、利用者さんとのコミュニケーションと感じました。何か考え込んでしまっていないか？仕事面などは順調か？など相手を知ることが大事だと、この研修では学ぶことができました。また何事にもルール作りが必要であり、前もって当事者が困らないようにすることが大事であり業務に活かせると感じました。</p> <p>(感想)</p> <p>ピアサポートについてまだ具体的に国からの指針はなく、各都道府県に一任するようで、研修自体は「京都式のピアサポート研修」と呼ばれていた。他の都道府県においても同じ研修内容とは限らず、今回受けた研修が精神障害寄りの内容であった。また研修の委託先が病院ということもあり、病院でのピアサポートの活動内容が多く、当事者の体験談も話として聞けたが参考になるかどうか疑問点も多く感じる内容（病院で精神疾患の患者に寄り添い話を聞き、一人ではないとサポートする）であった。コミュニケーションを大事にし、寄り添う事が大切だと感じました。</p>	

報告者	佐中 俊昭	報告日	令和 6年 2月 10日
-----	-------	-----	--------------